

雨ニモ負ケズ

宮沢賢治

雨ニモ負ケズ 風ニモ負ケズ 雪ニモ

夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダヲモチ

欲ハナク 決シテ 瞋ラズ イツモ 静ニワラツテイル

一日ニ玄米四合ト 味噌ト 少シノ 野菜ヲタベ

アラユルコトヲジブンヲカンジヨウニ入レズニ

ヨクミキキシワカリソシテワスレズ

野原ノ松ノ林ノ蔭ノ小サナ萱ブキノ小屋ニイテ

東ニ病氣ノコトモアレバ行ツテ 看病シテヤリ

西ニツカレタ母アレバ行ツテソノ稲ノ束ヲ負イ

南ニ死ニソウナ人アレバ行ツテコフガラナクテモイイトイ

北ニケンカヤソシヨウガアレバツマライカラヤメロトイ

ヒデリノトキハナミダヲナガシサムサノナツハオロオロアルキ

ミンナニデクノボウトヨバレホメラシモセズ

クニモサレズ ソウイウモノニワタシハナリタイ

【作者】 宮沢賢治（一八九六〜一九三三年）（明治二十九年〜昭和八年）

詩人・童話作家。岩手県生まれ。盛岡高等農林卒。花巻で農業指導者として活躍のかたわら創作。自然と農民生活で育まれた独特の宇宙的感受や宗教的心情にみちた詩と童話を残した。生涯、法華経を敬信。童話「銀河鉄道の夜」「風の又三郎」、詩集「春と修羅」など。